

# 我が国におけるうなぎ事情。

～今やジンベエザメよりもレア?!～

国際自然保護連合（IUCN）のレッドリストカテゴリーに平成26年6月、絶滅危惧種 I B類として掲載された我が国のうなぎ。その原因として海洋環境の変動、生息環境の悪化、シラスウナギの乱獲が指摘されている。しかし、はっきりとした理由は分かっていない。



シラスウナギ(ニホンウナギ)

# おやまだ給食だより

2015年  
7月号

レッドリストカテゴリー（絶滅の危機にある野生生物の種のリスト）

| 略号 | 区分        | 内容                                 | 該当生物                           |
|----|-----------|------------------------------------|--------------------------------|
| EX | 絶滅        | 既に絶滅したと考えられる種                      |                                |
| EW | 野生絶滅      | 飼育・栽培下のみで存続している種                   |                                |
| CR | 絶滅危惧 I A類 | ごく近い将来における野生での絶滅の危険性が極めて高い種        | ヨーロッパウナギ<br>ミナミマグロ             |
| EN | 絶滅危惧 I B類 | I A類ほどではないが、近い将来における野生での絶滅の危険性が高い種 | ニホンウナギ<br>アメリカウナギ<br>トキ<br>ラッコ |
| VU | 絶滅危惧 II類  | 絶滅の危険が増大している種                      | メバチマグロ<br>ジンベエザメ               |

## 七月の 行事食

七日 御一日献立  
二十四日 海夕の日の丑



御一日献立



通所リハ：お楽しみ食

## 六月の 行事食のご紹介



## 昭和60年代のあの頃にー

このように、どんどん希少になっていくニホンウナギ。S60年頃から、ウナギの国内供給量は輸入によって増加していた。しかし、近年ではS60年以前と同じ供給量となっている。（16万トン→6万トンへ）価格も年々高騰となってきている。

ニホンウナギの絶滅を防ぐために、主に国内で行われている対策として、※池入れ量管理に見合った採捕制限、採捕報告の義務付け、うなぎ養殖業の届け出制から許可制へなどがある。ウナギ資源回復を目指し国が一丸となっているが、まだ油断はできない状態である。

このような背景をふまえ、栄養部では来る7月24日土用の丑の日に貴重な国産うなぎをおいしく提供できるように最大限努力したいと考えている。

※池入れ・・・うなぎ養殖業を営むために、ニホンウナギの稚魚（養殖池に入れられたことのない物に限る）を養殖池に入れること。

## 栄養相談を受けてみませんか？

### ★外来患者様へ★

血糖値が気になる、血圧が高い、などでお困りではありませんか？お気軽に栄養相談にお越しください。管理栄養士が、できるだけわかりやすくお話しします。ご希望の方は担当医にご相談ください。

### ★入院患者様へ★

お食事のことでご相談があれば担当栄養士が伺いますので病棟スタッフに声をかけてください。

